

# 令和3年度埼玉支部 保険者機能強化予算執行実績

## 埼玉支部 保険者機能強化予算執行実績(令和3年度)

	分野	予算額(単位:千円)	執行額(単位:千円)	執行率
医療費適正化対策等予算	医療費適正化対策	12,808千円	893千円	7.0%
	広報・意見発信	10,580千円	8,083千円	76.4%
	<b>合計 ①</b>	<b>23,388千円</b>	<b>8,975千円</b>	<b>38.4%</b>
保健事業予算	健診経費	82,000千円	41,554千円	50.7%
	保健指導経費	4,991千円	1,759千円	35.2%
	重症化予防事業経費	24,231千円	19,206千円	79.3%
	コラボヘルス事業経費	14,097千円	1,312千円	9.3%
	その他の経費	13,862千円	12,029千円	86.8%
	<b>合計 ②</b>	<b>139,181千円</b>	<b>75,858千円</b>	<b>54.5%</b>
<b>合計</b>	<b>①+②</b>	<b>162,569千円</b>	<b>84,832千円</b>	<b>52.2%</b>

※ 各分野の実施状況等については次ページ以降に掲載。なお、中間評価時の血液検査等の保健指導経費等は省略している。

※ 予算額及び執行額は千円未満の端数整理のため、次ページも含め、合計及び執行率と整合しない場合がある。

# 医療費適正化等予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画						令和3年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	実施状況	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
医療費適正化対策等予算	医療費適正化対策	継続	ジェネリック医薬品メーカーの工場見学(親子向け)	小学生以下の子どもと保護者の方をターゲットに、社会科見学として、ジェネリック医薬品メーカーの工場見学を実施する。	330千円	ジェネリック医薬品の供給不足や、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、実施を見送り。	0千円	0.0%	—	継続
		継続	多剤服用者(ポリファーマシー)対策推進事業	複数の疾患を抱え多剤を処方される高齢者を対象に、心身への影響の啓発やかかりつけ薬剤師の周知を実施し、安全な薬物療法と医療費の適正化を推進する。	225千円	おくすり手帳の携行による重複調剤や多剤併用を解消しながら医療費適正化を図っていくことを目的として、おくすり手帳ホルダーを作成し、各種研修会等で配布(予定)。	548千円	243.5%	おくすり手帳の携行により、薬剤師による適正な服薬指導により、適正な薬の服用を促すことができたと考えられる。	無
		継続	ジェネリック医薬品使用促進に向けた広報	ジェネリック医薬品使用促進を目的として、様々な手法による広報活動を実施する。 《例》駅、公共施設などに設置されているデジタルサイネージの活用や大手検索サイトのバナー広告など。	11,429千円	ジェネリック医薬品の供給不足の状況が続くなか、大体的な広報を実施することは見送り。	0千円	0.0%	—	継続
		新規	ジェネリック医薬品使用促進セミナー	関係団体と連携し、ジェネリック医薬品促進を図るセミナーを開催する。	727千円	埼玉県、さいたま市、埼玉県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会と共催で、若年層の子どもをもつ親をターゲットとした「ジェネリックセミナー2021」を無観客にて収録、動画配信。	296千円	40.7%	ジェネリック医薬品だけでなく、子どもが病院に行く際の親御さんのよくある悩みに寄り添った講演を行うことで関心を持っていただいたものと考えられる。	無
		新規	定期催告に使用する封筒・チラシを一部変更する取り組み	債権の早期回収に向けた定期催告において、使用する封筒・チラシを変更することで、債務があることが強く認識され、債権回収率の向上が見込まれる。	97千円	R4.1~R4.3催告実施分について、使用する封筒の色を変え、また法的措置予告チラシを同封した。	49千円	49.9%	封筒等変更した分の発送件数に対する収納率は、通常送付分と比べ、高かったことが確認できた。	無

※ 予算額及び執行額は千円未満の端数整理のため、合計額及び執行率と整合しない場合がある。

# 支部医療費適正化等予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画					令和3年度事業実施結果					
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
医療費適正化対策等予算	広報・意見発信	継続	紙媒体による広報	広報誌、制度案内リーフレット等	4,615千円	広報誌、制度案内リーフレット等	3,438千円	74.5%	健康保険制度・健康づくりなどについて、各種広報誌で周知を行うことができた。	継続
		継続	新規加入事業所説明会	新規加入事業所を対象とした説明会を開催し、健康保険制度等の理解を深めてもらうとともに協会けんぽと事業所の距離を縮めることで事業運営の円滑化を図る。	665千円	新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、無観客にて収録・動画配信を行い、HP上で資料を掲載した。	664千円	99.7%	動画配信により手軽にご覧いただくことが可能で、事業主・事務担当者以外の方でも参考いただけたものと考えている。	継続
		継続	地元新聞紙面を活用した意見発信	健診受診勧奨やジェネリック医薬品使用促進等に関する情報を新聞紙面を活用することで、効率的に情報発信して健康づくり・医療費適正化等、地域医療に対する加入者及び事業主の意識醸成を図る。	1,100千円	・令和3年度実施のジュネリックセミナーの特集記事(紙面1面)と健診受診促進の5段広告を埼玉新聞に掲載した。 ・「2022年新春インタビュー」において、協会けんぽの取組み等を説明したインタビュー記事を掲載。	880千円	80.0%	協会けんぽの取組みについて、費用は抑えながら、埼玉新聞を購読している埼玉県民に広く周知できたものと考えている。	継続
		継続	セルフケア等の普及促進に関する事業	セルフケア意識の向上などを目的とした広報を実施。また、日頃の健康管理や生活習慣の改善方法等に加え、医療のかかり方、かかりつけ薬剤師などについて周知を行い、医療費の適正化につなげる。	2,000千円	・FM Nack5のラジオ番組を活用し、健診受診や保健指導などの広報を11月29日から12月2日にかけて放送。 ・FM Nack5において、ケンシン推進プロジェクトのスポットCMを11月22日から12月10日にかけて放送。	1,980千円	99.0%	番組Twitterの反響やリスナーからの質問など、多くのコメントを頂いたことから健診等に対する関心を持っていただけたものと考えている。	継続
		継続	地元メディアを活用した受診勧奨	特定健診の受診率向上及び特定保健指導の利用推進、ジェネリック医薬品使用促進等のため、地元テレビ局等の地域密着型情報番組で番組内パブリシティを放送し、加入者への呼びかけを行っていく。	2,200千円	テレビ埼玉の番組「マチコミ」内の情報コーナーを活用した広報を年度内3回実施。 ①ジェネリック医薬品使用促進 ②生活習慣病について ③健(検)診について	1,122千円	51.0%	テレビ埼玉を視聴している埼玉県民に広く周知できたものと考えている。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画						令和3年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
		継続	健診実施機関実地指導旅費	旅費	60千円	旅費	14千円	21.9%	新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策のため訪問 を縮小。	継続
健診経費	事業者健診の結果データの取得	継続	健診機関による委任状 取得の委託費	事業者健診の結果データ取得 にかかる委任状の取得	440千円	実績なし	0千円	0.0%	—	継続
		継続	事業者健診データの取得 勧奨	・労働局および都道府県との連 名チラシを用いた事業所への電 話及び訪問、文書勧奨の実施 ・委託業者を利用した事業所へ の電話及び訪問勧奨の実施 ・経済団体等と連携した同意書 取得勧奨業務の実施 ・委託業者を利用した事業者健 診結果(紙)およびアンケート結 果に関するパンチ業務委託	24,085千円	・埼玉県との連名チラシを活用 ・中規模、小規模事業所に対す る文書・電話勧奨を実施 ・委託業者による健診機関宛対 象者一覧リストの作成・発送 ・委託業者による事業所宛て健 診結果(紙)提供依頼発送業務 ・委託業者による健診結果(紙) パンチ業務 令和3年度事業者健診結果 データ取得件数:55,834件	11,887千円	49.3%	事業所規模別に支部職員、 外部業者、関係機関と連携 し計画通り結果データ取得 勧奨を行うことができた。	継続
		継続	集団健診および集団保健 指導の実施	埼玉県内全域において集団健 診(歯科健診付加(市町村との がん検診同時実施含む)及び 集団保健指導を実施する。	29,794千円	埼玉県内全域において集団健 診(歯科健診付加(市町村との がん検診同時実施含む)及び 集団保健指導を行った。  ・勧奨数:177,458件(がん検診同 時実施:13,128件、協会主催の集 団健診:164,330件) ・受診者数:14,781人(がん検診 同時実施:1,258件、協会主催の集 団健診:13,523件) ・特定保健指導当初初回面談(分 割):1,127人(がん検診同時実施: 80件、協会主催の集団健診: 1,047件)	19,215千円	64.5%	健診実施日数(会場数)が 18日間増えての実施となっ た。健診日が増え、申し込 みしやすい(選びやすい)環 境であったため、申込者数、 受診者数が増えた。	継続
	健診推 進経費	継続	生活習慣病予防健診(A)	健診機関等と連携し、健診の実 施率向上、事業者健診健診 データの早期提供を図る。	469千円	日曜健診(本人):280件 結果データ取得:12,371件 日曜健診(家族):190件	103千円	21.9%	新型コロナウイルス感染症 の影響もあり見込みを下 回った。	継続
継続	事業者健診データ取得(B)		8,127千円		2,660千円	32.7%	継続			
継続	特定健診(C)		217千円		41千円	18.8%	継続			

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画						令和3年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
健診経費	健診受診勧奨等経費	継続	期首受診勧奨用リーフレット等の作成	特定健診(被保険者・被扶養者)受診率向上のため、期首および期中に発送する健診のご案内とともに同封する等、配布するリーフレット等の作成および生活習慣病予防健診実施機関において健診結果に同封するリーフレットの作成	10,994千円	・生活習慣病予防健診及び被扶養者の特定健診受診率向上のため、期首および期中に発送する健診のご案内パンフレット等の作成。 ・健診機関が健診結果に同封するチラシの作成。 事業所あて5種:10万件 被扶養者あて9種:24万7千件 任継加入者あて3種:1万4千5百件 健診機関用チラシ1種:35万件	3,351千円	30.5%	期待通りの成果があった。被扶養者あての実施機関一覧表を21種類から8種類に変更し、作成物種類の削減および被扶養者あての健診機関掲載数の拡大を図った。	継続
		継続	受診勧奨横断幕の掲載及びがん検診の新聞広告の掲載	特定健診(被保険者・被扶養者)受診率向上のため、さいたまスーパーアリーナへの横断幕の掲出と新聞へのピンクリボン広告の実施	715千円	・さいたまスーパーアリーナへの横断幕の掲出及び次年度以降用の横断幕の作成。 ・埼玉新聞社のピンクリボン運動2021に参加。	754千円	105.4%	通勤・通学などの電車の乗客が健康診断に関心を持って頂けるように目立つだけでなく、内容が分かりやすいものとし、一定の関心を持って頂けたと考えている。また、ピンクリボン運動については、埼玉新聞の購読者に対して、幅広く認知されたと考えている。	継続
		継続	期中受診勧奨用リーフレット等の作成及び封入封緘(新規案内)	特定健診(被保険者・被扶養者)受診率向上のため、期中に新規に加入した事業所、任継被保険者および新規に認定された被扶養者へ健診の案内のリーフレット等の作成、封入封緘委託	6,435千円	期中に新規加入した事業所、任意継続被保険者および新規に扶養認定された被扶養者に対し、健診案内の送付を行った。  新規加入事業所:4,134件、 新規任意継続加入者:4,540件、 新規被扶養者:22,752件	3,269千円	50.8%	期待通りの成果があった。新たに加入した事業所への健診案内や、被扶養者に対し、特定健診受診券(セット券)を発券することで、受診率向上及び協会けんぽの事業への理解につながるものと考えている。	継続
		新規	加入者サービスのための健診予約状況照会サービスの導入	加入者サービスのための健診予約状況照会サービスの導入	664千円	・支部ホームページ上に生活習慣病予防健診予約状況が確認できるシステムを導入し、健診機関が最新の予約状況を更新し、受診しやすい環境を作ることを目的に事業を実施。 ・参加機関数は127機関中36機関であった。	264千円	39.8%	令和3年度から運用開始のため、参加機関数が少なく、初年度は様子を見たいなどといった声があり、引き続き参加勧奨に努める必要がある。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画					令和3年度事業実施結果					
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
重症化予防経費	未治療者受診勧奨	継続	未治療者受診勧奨	<p>・二次勧奨対象者であり、回答書の返信がない者と「受診予定なし」と返信してきた者に対し、委託業者より文書勧奨を実施する。</p> <p>・二次勧奨対象者であり、回答書の返信がない者と「受診予定なし」と返信してきた者に対し、委託業者より対象者(事業所)へ電話勧奨を実施してもらう。</p>	6,931千円	<p>・二次勧奨1回目(文書): 勧奨文書を3,150件発送。内容は該当項目が血圧のみ・血糖のみ・両方該当の3パターンとした。なお、自宅住所付近の病院一覧を同封した。</p> <p>・二次勧奨2回目(電話): 電話勧奨実施前に事業所宛に電話がある旨の文書を送付。回答書の返信がない者と返信ありでも「受診予定なし」「受診予定」回答者に委託業者より受診勧奨の電話を2,056件実施。</p>	7,845千円	113.2%	電話勧奨することで行動変容した方もいることから、効果はあったと考えられるが、そもそも電話が繋がらない、受診予定のない方が37.5%と多く見られたことから、不通時の対応、架電時のトークスクリプトの更なる工夫が必要と考えている。	継続
	重症化予防対策	継続	重症化予防対策	<p>・埼玉県で作成した糖尿病等重症化予防プログラムと連携し、重症化予防を実施する。医療機関へかかりつけ医推薦書を送付し、医師の推薦書記入があり、本人から参加同意書の提出があった対象者(他薦方式)と、対象者へ参加同意書とかかりつけ医推薦書を送付し、同意書及び推薦書の提出があった対象者(自薦方式)へ保健指導を実施する。</p> <p>・糖尿病の治療中断者(前回受診から6か月以上受診がない者)に対して受診勧奨を行う。</p>	17,300千円	<p>・令和2年度の生活習慣病予防健診の結果から、糖尿病性腎症重症化分類を行いⅡ期～Ⅳ期の対象者を抽出し、その後レセプトにより糖尿病治療中と判断される者を選定し、文書による参加勧奨を実施する自薦方式と都市医師会やかかりつけ医と連携し、かかりつけ医に基準該当者を推薦していただく他薦方式による参加勧奨を実施した。</p> <p>・保健指導は、糖尿病性腎症Ⅱ期の対象者については4か月間(面談1回、電話3回)、Ⅲ、Ⅳ期の対象者については6か月間(面談3回、電話3回)で実施した。</p> <p>・令和元年10月診療分～令和2年9月診療分のレセプトデータから、「糖尿病」治療歴を有し、過去に糖尿病の服薬歴があり、6か月間に渡り糖尿病レセプトが確認できない者を抽出し、治療中断者リストを作成し、文書により医療機関への受診勧奨を実施した。</p>	11,361千円	65.6%	<p>【自薦他薦方式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加勧奨1,584名</li> <li>・保健指導開始者60名</li> </ul> <p>【治療中断者】</p> <p>受診勧奨した258名の中で、令和3年9月～12月分のレセプトで受診を再開しているか確認し、17%(44名)が受診していた。</p>	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画					令和3年度事業実施結果					
区分(大)	区分(中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
支部保健事業予算	コソポヘルス事業	継続	禁煙対策 (禁煙チャレンジ制度)	禁煙チャレンジ制度を活用し、喫煙者に禁煙を促すとともに、禁煙時に禁煙宣言をしてもらい、3か月以上の禁煙成功者に認定証を交付する。なお、禁煙宣言時には、応援者(サポーター)を登録してもらい、周囲の人から禁煙をサポートしてもらう制度とする。 また、禁煙を勧めるためのポスターなどを作成し、健康宣言事業所へ配布する。	176千円	・禁煙チャレンジ制度参加勧奨参加勧奨リーフレットを配布。 【配布】・健康宣言事業所 ・特定保健指導訪問時に配布  ・禁煙チャレンジ制度 令和3年度は19人が新規参加	0千円	0.0%	喫煙率を低下させたい事業所、禁煙希望加入者は潜在的に存在することから、対象を絞り込み、チラシ等を活用して継続的に広報を行うことが必要と考えている。	継続
		継続	埼玉県と連携した加入者の健康づくり事業 (コバトン健康マイレージ)	県の事業で、市町村及び参加団体(企業、保険者等)が、歩数計(スマホアプリ)を活用し加入者が取り組む健康づくり(ウォーキング、運動教室、特定健診の受診等)に対しポイントを付与し、県において貯まったポイントに応じた景品(抽選)の配付やランキング上位者の表彰を行う。	1,000千円	・生活習慣病予防健診、特定健診の案内、健康保険委員だよりにチラシを同封 ・納入告知書同封チラシ、社会保険協会発行の広報誌に記事を掲載、メールマガジンでの広報 ・健康経営埼玉推進協議会主催で令和3年11月に当該スマホアプリを使用し、企業対抗の歩数競争(コバトンウォーキングチャレンジ)を実施	550千円	55.0%	埼玉支部加入者の利用者数は令和2年度末より1,000人以上増え、3,543名となり、さらに令和3年度初めて実施された企業対抗のコバトンウォーキングチャレンジの参加者は埼玉県全体で1,555名が参加した。多くの参加者に運動に対する関心を持って頂いたと考えている。	継続
		継続	健康経営の普及・促進	・健康経営及び健康宣言に係るパンフレットを作成し、事業所へ訪問・郵送により健康経営の普及および健康宣言の参加勧奨を行う。 ・健康経営埼玉推進協議会を定期的に開催し、埼玉県、さいたま市、協力事業者と連携して健康経営の取り組みを促進する。	2,097千円	・健康経営サポートカルテ送付時に健康宣言応募用パンフレットを同封し、参加勧奨を実施 ・健康経営の手引きの活用 健康経営推進の手引きを事業所等に配布した。 ・健康経営の評価等(健康宣言証と認定証の交付) 健康宣言時に小川和紙を使用した健康宣言証を交付。宣言後1年間の取組状況を確認し、一定以上の取組を実施している企業を「健康優良企業」として認定証(アクリルフレーム)を交付し、見える化を図った。	554千円	26.4%	KPIの健康宣言事業数700社以上を超え、744社となった。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画						令和3年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
コーポヘルス事業 コーポヘルス事業経費	コーポヘルス事業	継続	健康経営の効果測定	「健康宣言」が加入者の健康増進に有効であるのか確認し、最小のコストで最大の効果を出す方法に改善していくためにアウトカム指標を策定し、「健康宣言」の効果測定を確認するだけでなく、事業所1社ずつの結果を作成・配布し、事業所の取組評価・改善に役立ててもらおう。	3,300千円	健康経営を研究している学識経験者に意見等を伺いながら、効果測定方法を検討しているところではあるが、具体的な着手までには至らず、令和4年度以降の継続案件となった。	0千円	0.0%	—	継続
		継続	スモールチェンジ活動等を活用した健康宣言事業所のサポート	宣言事業所が増えるなか、従業員への情報提供だけの形式的な取り組みに終始する事業所が見受けられる。しかし、健康経営の目的達成のためには、従業員ひとりひとりに健康づくりの意識を持って取り組んでもらう必要がある。健康宣言事業所に対して、スモールチェンジ活動等を推進し、企業の健康経営の取組みの一環として、各従業員に健康づくりに取り組んでもらえるようにする。	5,874千円	・健康宣言の事業所の中でコーポヘルスを希望する事業所において、従業員に「スモールチェンジ目標」を設定して実践するスモールチェンジ活動を実施し、従業員自らの行動変容を促す取り組みを実施した。  ・健康経営のフォローアップ委託業務は検討した結果、実施には至らなかった。	0千円	0.0%	令和2年度までは早稲田大学と共同で当該活動の研究を実施していたため、チラシ作成やアンケートを実施したが、今年度は研究期間が終了したため、それらは実施していない。 ただし、当該活動は健康宣言事業所の取組みとして有効なため、令和2年度に引き続き案内は実施している。	継続
	情報提供ツール	継続	健康経営サポートカルテの作成(更新)	加入事業所の健康度を見える化するため、健康経営サポートカルテを作成して、事業主・従業員加入者の健康づくり意識の醸成を図る。	1,650千円	・被保険者数30人以上の事業所を対象として、健康経営サポートカルテを作成。配布は7月以降を予定。 ・令和3年9～10月にかけて令和2年度末に作成した健康経営サポートカルテを外部委託にて印刷及び封入封緘し、1,512事業所へ送付。	208千円	12.6%	サポートカルテに同封したアンケートより、98%以上の方が参考になったと回答(回答数:124事業所)があった。	継続

# 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画						令和3年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
その他の経費	その他の保健事業	継続	健康経営セミナー	健康経営の普及推進を図り、加入者の健康増進と健康寿命延伸に繋げるため、事業主及び事業所福利厚生関係者等を対象として、経済団体関係者や識者などを講演に招いて、健康経営セミナーを開催する。	540千円	健康経営埼玉推進協議会が主催となり、県内4会場で健康経営を実践している企業の事業主等を集めた情報交換会を開催し、参加した企業間で取組みや課題などを共有した。	0千円	0.0%	健康経営の質の向上を目的とした意見交換会の形式とした。参加者からは、定期的な開催を希望する旨の声をいただいた。	継続
		継続	メンタルヘルス対策セミナー	事業主等を対象に、企業におけるメンタルヘルス対策を推進することで、従業員等加入者の健康増進やQOL向上を目的とし、産業保健総合支援センターをはじめとする連携協定団体などを講演に招いて、メンタルヘルス対策セミナーを開催する。	540千円	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。	0千円	0.0%	—	継続
		継続	埼玉県等と協働した健康づくりイベント等での健康相談	・地域のイベント等において血管年齢測定および健康相談を実施する。 ・連携協定を結んでいる団体(埼玉県健康長寿課)との共同事業としてイベントに参加し、県民に健康づくり意識を広める。	1,086千円	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止。	0千円	0.0%	—	継続
		継続	糖尿病重症化予防及び歯科検診に関する分析	・糖尿病性腎症重症化予防を実施してきた際に、医師会やかかりつけ医から治療中断者の受診勧奨もしつかりすべきとの意見等もあり、平成30年度に人工透析患者の分析と併せて、治療中断者の抽出を行い、受診勧奨を行った。令和3年度についても、レセプトデータ等使用して受診勧奨を行うとともに、大学等と連携した共同分析を行うため、分析用データを作成し大学等に提供する。 ・歯科医師会と連携し、健康宣言事業所等に歯科検診等を働きかけ、糖尿病等と生活習慣病リスクとの関連について分析までを計画する。	8,470千円	・治療中断者の抽出を行った(抽出した対象者への受診勧奨は令和4年上期実施予定)。 ・大学等と連携した共同分析を行うため、分析用データを作成し大学等に提供した。(大学等に提供及び分析は令和4年度実施予定)	11,550千円	136.4%	令和2年度抽出した治療中断者に対して令和3年度受診勧奨を258名行い、44名の受診につながった。引き続き継続して実施していく予定である。	継続

## 支部保健事業予算の執行実績一覧(令和3年度)

令和3年度事業計画						令和3年度事業実施結果				
区分 (大)	区分 (中)	新規	事業名	事業概要	予算額 (単位:千円)	事業実施概要	執行額 (単位:千円)	執行率	評価	4年度 実施
その他の 経費	その他の 保健事業	新規	未治療者に対する 0次勧奨	現在、生活習慣病予防健診受診後6か月後に本部による一次勧奨を実施し、その後支部において二次勧奨を実施しているが、勧奨後の平均受診率は10%である。その要因の1つとして対象者の手元に勧奨文書が届くまでに時間を要していることが考えられる。そこで、健診結果が手元に届く時期に合わせて受診勧奨を実施することで対象者の当事者意識を高め受診率の向上を促す。	3,135千円	生活習慣病予防健診契約機関128か所中、41機関と契約(32.0%)。新規事業について説明し各機関へ協力を求めたが、想定より少ない契約機関数であった。令和3年4月から二次勧奨該当域の方の健診結果返却時に受診勧奨リーフレットを同封した。同封数は1,021名分であった。	479千円	15%	現時点で効果検証はできていないが、健診受診直後に健診機関からタイムリーに受診勧奨できたことは早期受診につながるのではないかと考えている。	継続